

共通開講科目(アオッサ) 東日本大震災をどう受け止めるか／福井大学

科目名/提供大学名	東日本大震災をどう受け止めるか／福井大学
科目名(英文)	On The Great East Japan Earthquake
対象学年	原則として、全学年。(但し当該年度卒業予定者は除く)
開講時期	後期:集中(2/11～2/14①②③④限目)予定
単位数	2単位
科目区分	選択(地域コア科目群:「原子力・エネルギー分野」)
授業形態・開講形態	講義・演習
担当教員名	寺岡 英男, 宇埜 正美, 木村 哲也, 酒井 明子, 安田 仲宏, 未定(非)
オフィスアワー	講義の前後に質問等を受け付けます。
教員メールアドレス	世話担当:寺岡英男／teraoka@u-fukui.ac.jp
概要	東日本大震災は、科学技術、環境、産業と雇用、地域と生活、医療、教育など全般に亘ってこれまでの枠組みの見直しを迫っている。授業では、専門の立場から支援活動を行った担当教員等が、地震と津波の災害、原子力発電事故、それに伴う医療活動、メンタルヘルスケア、避難者の状況についてその実際を語る。
学習・教育目標との関連	各大学の目標との関連は、科目の提供大学側では書けないと思われます。
授業目標・目的	専門の立場から支援活動を行った担当教員等からの、地震と津波の災害、原子力発電事故、それに伴う医療活動、メンタルヘルスケア、避難者の状況についての講義から、この災害をどう受け止めたら良いのか、技術、医療、健康、生活等の状況を通して、大学で学ぶ者として、そして一人ひとりの市民の問題として考えていく場としたい。
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)	<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力
学生の目標・到達目標	東日本大震災というこれまでにない重大な現実的な問題について、総合的に取り上げることで、学生一人一人が主体的に受け止め、学んでいく一つの契機としてほしい。
授業計画・授業内容	1. オリエンテーション・ガイダンス 2. 福島第一原子力発電所事故の経緯 3. 事故後の安全対策と福島炉の廃止措置 4. 原子力災害の特徴と放射線 5. 原子力防災計画と大学の役割 6. 福島第一原発事故からこれまでの福島の状況について 7. 福島第一原発事故からこれまでの福島の状況について 8. 東日本大震災における医療活動 9. 災害初期から中長期におけるこころのケア 10. グループ討議 11. グループ討議・レポート作成 12. 医療からみた日本大震災－複合型災害の特殊性－ 13. 東日本大震災から得た教訓－自分の施設が大震災に見舞われたらどうするか－ 14. グループ討議 15. グループ討議, レポート作成
授業方法	パワーポイント・画像等での講義に、節を区切ったグループ討議を入れて、授業を進めます。
キーワード	東日本大震災、科学技術、環境、地域と生活、医療と教育、原子力発電事故、医療・心のケア、避難者とコミュニティ、東日本大震災から学ぶもの
教科書	教科書はなし。毎時資料を印刷し、配布します。
参考書	必要に応じ、参考書を紹介します。
評価方法・評価基準	何回かの小レポート、グループ討議の状況、そして最終的なレポートを総合して評価します。なお1/3以上欠席した学生は不可とする。
関連科目	
履修の要件	開講年度に卒業予定者は履修不可
必要な事前・事後学習	適時、担当教員からの指示に従うこと
その他・注意事項	集中講義のため、原則、4日間すべて出席すること。